



# 広島工業大学専門学校 専門祭'11開催について

広島工業大学専門学校  
教員 総務部長 上川 毅文

## 専門祭の企画について

本校では、教職員と学生有志が、近隣の皆様に対するボランティア活動の一つとして西区役所主催の“青空ギャラリー”に協力し、西区役所前の緑地帯での学生作品展示や手作りの大型クリスマスツリーの設置などを行ってき



ました。また、本校の1階ロビーを開放し、幼稚園児から大人まで楽しんでものづくりの体験ができるコーナーを設けるなど、工夫を凝らした青空ギャラリーへの協力を4年間続けてきました。



このような中で、学生からは文化祭のような学生主体の行事ができないだろうかという声があがるようになりました。また、これらを受けて教職員からも学友会の学生を中心とし、高校の文化祭の延長ではなく本校らしいものがないだろうかという意見が出されるようになりました。これまで本校の学生は、この青空ギャラリー以外にも、百メートル道路沿いを清掃しながら歩く“ゴミゼロウォーク”や、緑地帯にある花壇の花をいつも綺麗な状態に保つための“グリーンパートナー”を実施してきましたが、学友会が企画から運営まで主体となつて行なう行事はありませんでした。

そこで、自分たちが日頃学んでいる学習内容を多くの方々に知ってもらうこと、そのためには、専門学校の特色であるものづくり体験をしてもらうことでより深く理解してもらうこと、そして自分の専門ではない他の学科のことも知ることにより自分の専門性の幅を広げること、最後に学生主体とすることにより自主性や協調性を養うこと、これらのことを目的として「専門祭」を開催することを決めました。また、日程については、青空ギャラリーと同時開催とし12月11日(日)としました。

## 出展内容

専門祭の目的に沿って学生には「作品展示」と「ものづくり体験」を中心とした企画をさせましたが、そのほかにも、祭りにふさわしい楽しいアイ

デアの募集を学生主体に行わせました。その結果、学友会連絡会も頻繁に行われるようになり、学年や学科を超えて協力できる体制作りが少しずつできてきたように思います。

ものづくり体験は、保育園児でも学生や大人のサポートがあればできるものになりました。将来、この小さなものづくり体験がきっかけになり、工学的な分野に興味を持つことに繋がればと期待するところです。



実施した内容は次のとおりです。

## 建築学科

- ペーパークラフトでおうちづくり
- CADソフトの体験

## 電気工学科

- ピカピカ光るツリー作り(LED製)

## 機械工学科

- 懐かしの玩具作り

## 情報・IT・メディア学科

- Wiiリモコンで遊ぼう
- キーホルダーを作ろう

## 映像学科

- 合成画像を楽しもう

## 音響学科

- HITP歌謡祭

## まちづくり環境デザイン学科

- 測量機器の体験



## 当日の様子

当日は、天候には恵まれたものの、少し肌寒い1日となりました。しかし、訪れていただいた方からは、各学科の展示物や作品を通して、専門学校で本校の学生がどのようなことを学び、技術や技能を身に付けているのかが初めて理解できたという声が多く聞かれました。また、体験型の実習では、合成画像の暗幕の前で楽しそうにポーズを取る子供や、学生と一緒に作成したペーパークラフトやキーホルダーなどを嬉しそうに持ち帰る子供たちの姿も見ることができ、とても嬉しく思いました。

## 学生の感想

学友会長の高木進歩君(建築学科)は、「今回の専門祭の実施に当たり、色々なクラスとの調整もあり、大変な面もありましたが、多くの方に参加していただきとてもうれしく思います。次年度は、更に良いものになるよう後輩たちともしっかり話をし、できるだけサポートしていきたいと思っています。」と述べていました。

また、歌謡祭を計画した学生たちか



らは、「企画段階で何度も修正が入り思うように進まなかったのですが、歌謡祭当日は想像していた以上に盛り上がり、集客することが出来ました。今回企画から本番を迎えるまでの全てに関して報・連・相が大事だと思いました。また、先生に助けてもらう場面もあり、まだまだ力不足で至らない所があると感じました。」という感想もあり、当初の目的が達成できたのではと感じています。

## 次年度に向けて

今回、専門祭を企画することを通して、学生一人ひとりが、本校で身に付けている専門スキルとは別に、一般の方々にも本校を知ってもらうには、何が

必要か、どのようなことを実施すれば喜んでもらえるかという立場でものを考える貴重なきっかけになったと考えています。

日ごろの学生の学びとは、また、違った一面を見ることもでき、我々教員も多くのことを得ることができました。学生からも、さまざまな意見が得られましたので、これらの情報を学友会の学生たちと共有し、次年度への足がかりとしたいと考えています。

最後になりましたが、実施に関して、多くの方々にご協力いただき本当に感謝しております。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

